

序章

(一) 自然条件からみたムラ	3
根通りのムラ 3	台地上のムラ 4
沖積低地のムラ 4	
(二) 文化圏からみたムラ	6
街道沿いのムラ 6	川の民とムラ 6
土豪とムラ 7	
(三) ムラと家	8
ムラのたたずまい 8	ムラと生活 8

第一章 総説

一 民俗学と市史	13
(一) 民俗学とは	13
常民の歴史を知る学問 13	狭山市史と民俗編 14
二 各説の概要	17
(一) 家とムラ	17
(二) 年中行事	20
(三) 人生儀礼	24
(四) 伝説・昔話・世間話	27
(五) 織物	30
(六) 石造遺物	31

第二章 各説

一 家とムラ	37
(一) 家とムラについての観念の変化	37
1 父系制の濃い東国の伝統	37
父方の姓 37	武蔵武士の伝統 38
家とムラ 40	
2 御先祖様と本家・分家	41
本家・分家 41	イッケ・地親類 42
3 ムラの草分け	43
ムラの開発 43	柏原鍛冶の流れ 44
落人伝承 45	本村と新田 47
(二) 屋内神	48
1 お釜様	48
お釜様の祭り 48	火の神から祖先神へ 50
作神への発展 50	釜ヅ 51
2 荒神様	52
荒神様の祀りと功德 52	一家荒神からムラ荒神へ 55
3 えびす・大黒	56
大黒様とえびす様 56	大黒様 56
えびす講 57	
4 大神宮	58
天照皇大神 58	八百萬の神 60
水神 60	雪隠神 61
オソウゲン様 61	その他の屋内神 62
(三) 屋敷神と屋敷墓	62
1 屋敷神と屋敷墓	62
稲荷中心の屋敷神 62	屋敷神と屋敷墓 63
ホトケから屋敷神へ 64	盆 65
無縁仏 65	墓地と仏壇 67
屋敷神からムラの稲荷へ 69	
変わった屋敷鎮守 74	
二 ムラ	75
(一) ムラのしくみと信心	75
1 ムラのつき合い	75
一家 75	もよりと組 76
ムラの階層 77	
2 相互扶助とムラ	78
冠婚葬祭とムラ 78	もやい仕事 79
くずはき橋 80	
3 講のさまざま	81
(1) 山岳信仰に発した講	81
講のさまざま 81	大山講 82
榛名講 84	古峰原講 87
三峯講 88	御嶽講 89
秋葉講 91	出羽三山講 92
富士講 93	高尾山講 97
山岳信仰と農村・町場 97	
(2) 特定の祈願の講	99
産泰講 99	久米の水天宮講 99
子の神講 100	蚕影講 101
おしら講 103	天神講 104
稲荷講 105	
(3) 塞ぎの講	106
平心講 106	世良田の天王様 107
厄神講 107	庚申講 107
(4) 仏教関係の講	108
念仏講 108	観音講 109
川崎大師講 110	馬頭講 110
成田講(不動講) 110	お命講 111
お齋日・お精進 113	
4 氏神・産土神	114
氏神・産土神の成立 114	素人芝居 117
合祀された氏神 118	
5 寺と堂	119
寺と堂 119	崇り場 120
6 祭りと郷土芸能	120
(1) 祭り	120
梅宮神社の甘酒祭り 120	市場の荒神様 123
広瀬の火祭り 123	諏訪神社のなすとりかえ 124
信立寺のお命講 125	加佐志の天王様 128
青柳の天王様 129	沢の天王様 129
下奥富の天王様 129	柏原の天王様 130
入間川の天王様 131	
(2) 郷土芸能	131
入曾の獅子舞 131	八幡神社鹿子舞 134
柏原の獅子舞 136	

上赤坂の獅子舞	137	笹井豊年足踊り	138	入曾囃子	139	広瀬囃子	139
下諏訪囃子	140	菅原囃子	140	青中囃子	140	西方囃子	140
鶉ノ木囃子	141						
(二) 核家族化と家・ムラ	-----						141
1 戦後の大変革	-----						141
自由主義の導入	141	高度成長と生活改善	143				
2 年齢階梯制の復活	-----						144
子供会	144	老人会への期待	145				
3 信仰集団から目的集団へ	-----						146
信教の自由	146	趣味の会の発展	146	生涯教育と地方公共団体	147		
三 年中行事	-----						149
序説	-----						149
年中行事の意義	-----						149
暦法の変遷	-----						151
(一) 正月の行事	-----						152
1 正月のしたく	-----						152
二月正月から一月正月へ	152	煤とり	153	餅つき	158	神飾り	161
大晦日の行事	167						
2 大正月	-----						172
年男	172	年神様と卯の日	175	おおぼん	179	仕事始め	180
七草がゆ	181	あおひぼ	184	蔵びらきとさくりかけ	187		
3 小正月	-----						189
繭玉	189	嫁の初帰りと雇人	193	どんど焼き	194	小豆がゆ	196
成り木責め	199	恵比須講	200				
(二) 春夏の行事	-----						204
1 予祝行事	-----						204
次郎の朔日	204	節分と年とり	205	稻荷講	209	丑寅正月	212
2 祖霊に関する行事	-----						213
彼岸	213						
3 五節供	-----						214
節供について	214	三月節供	215	五月節供	219		
4 農休日	-----						222
植えきりと田上がり正月	222	その他の農休日	225	土用の丑の日	227		
(三) 盆行事	-----						228
1 盆のしたく	-----						228
七夕と盆	228	入間川の七夕	232	盆の日取り	233	盆供と墓掃除	234
盆棚作り	234						
2 盆行事	-----						235
迎え盆	235	供え物と無縁仏	236	施餓鬼と棚経	236		
(四) 秋冬の行事	-----						241
1 感謝行事	-----						241
十五夜と十三夜	241	お日待	245	お釜様	247	亥の子ととおかんや	250
2 塞ぎ行事	-----						255
師走八日	255	冬至	258				
まとめの言葉	-----						260
年中行事と地域差	-----						260
年中行事と作神	-----						261
年中行事はなぜ簡素化されるのか	-----						261
四 人生儀礼	-----						263
概説	-----						263
(一) 産育	-----						265
1 出産以前	-----						265
子授けと安産祈願	265	妊娠の祝い	269	妊娠中の禁忌	270	産部屋	272
お産と産婆	274	産湯と産着	277				
2 お七夜から初誕生まで	-----						279
お七夜と命名	279	お宮参り	282	お食い初め	283	初正月と初節供	284
初山	286	初誕生	287				
(二) 子供から大人へ	-----						289
1 少年期	-----						289
三つ身の祝い	289	五歳の祝いと帯解	289				
2 成人期	-----						291
成人祝い	291						
(三) 婚姻	-----						292
1 婚礼以前	-----						292
縁談と仲人	292	口固めと結納	295	足入れ	298		
2 婚礼	-----						299
出祝儀	299	嫁入りと入家式	300	本祝儀	302		
(四) 厄年と年祝い	-----						306
1 厄年と厄除け	-----						306
厄年と厄除け	306						
2 年祝い	-----						307
年祝い	307						
(五) 生と死の境から霊の世界へ	-----						308
1 予兆と末期	-----						308

	死の予兆 308 末期の水 310 死後の処置と通夜 310	
2	葬式-----	315
	ともらいの準備 315 ともらい 316	
3	葬法と墓制-----	319
	土葬 319 火葬 323 単墓制と両墓制 323	
4	先祖供養と回忌-----	330
	初七日から四十九日まで 330 一周忌から先祖となるまで 331	
五	伝説・昔話・世間話-----	335
	(一) 伝説-----	335
1	水に関する伝説-----	338
	不老川 (その一) 338 不老川 (その二) 338 不老川 (その三) 338	
	不老川 (その四) 339 不老川 (その五) 339 不老川 (その六) 339	
	逃水 (その一) 340 逃水 (その二) 340 逃水 (その三) 340	
	逃水の里 (その四) 340 逆川 341 しるたれ川 (その一) 341	
	しるたれ川 (その二) 341 まぐい淵 342 まごえもん淵 342	
	すえなし川 342 梅の井戸 342 乳の出る竹づっぽの水 343	
	乳の出る井戸水 343 タケが淵 343 オタケ大日如来水神宮 343	
	クモが淵 344 せとっぱらのガンガン井戸 344 西方の滝 344	
	七廻りの井 344 七曲りの井 344	
2	動物に関する伝説-----	345
	西浄寺でクツワ虫が鳴かない話 345 ガシャを封じた話 345	
	西浄寺の夜盗 345 西浄寺の鷹の絵 346 ガシャガシャ山のオオカミ 347	
	オオカミの餌 347 ヘビと蔵 347 智光山の大蛇 347 オタケヘビ 348	
3	植物に関する伝説-----	348
	血のしたたる木 348 血の出るケヤキ 348 ごぜさんとサトイモ 348	
	駒つなぎの松 349 ズイコウのケヤキ 349 じゃんか松 349	
	大樹寺の大ケヤキ 350 大樹寺の大ケヤキとふすま 350	
	大樹寺の大ケヤキと虚空蔵菩薩 350 大樹寺の大ケヤキとくすり湯 350	
	大樹寺の大ケヤキと神の木さま 350 神の木さま 351 神木さま 351	
	なんじゃもんじゃの木 351	
4	地名に関する伝説-----	351
	射留魔の地名由来 351 しるたれのさかさ川 352 天倒山 352 石無坂 353	
	しよいや坂 353 しょうや坂 353 柏原横丁 353 中の坂 353	
	鶉の木 354 ごろ一坂 354 河岸街道 354 梨の木 354	
	御狩場 (その一) 354 御狩場 (その二) 355 宮街道 355 寺街道 355	
	井戸山 355 ごしん山 355 かすや新道 355 ムジナ街道 356	
	やせ河原 356 権現橋 356 富士見台 356 富士見里と富士隠 356	
	向 357 オトウカ山 357 三つヶ窪 357 思い川 (その一) 357	
	思い川 (その二) 358 宮前 358 神明 358 かずばたけ 358	
	ガシャガシャ山 358 竹の花 358 梶屋 359 八瀬 359 八瀬の里 359	
	八丁の渡し (その一) 359 八丁の渡し (その二) 359 清水 359 宮後 360	
	弁天通 360 前田 360 小袋 360 稻荷上 360 水押 361	
	ごへい坂 361 お寺街道 361 八反目 361 金堀 361 奥富 361	
	くずはき橋 362 向陣 362 半貫 362 丸山 362 半貫山 363	
	御所の内 363 霞が関 363 だんご坂 363 おおじょうどう 363	
	ごぜ橋 (その一) 364 ごぜ橋 (その二) 364 新田の館 364 八幡 364	
	稲荷 364 たすき坂 365 広瀬 (その一) 365 広瀬 (その二) 365	
	中島 365 大杉だおし 365 清水坂 366 一本杉 366 加治街道 366	
	ネコ屋敷 366 よこまくり (その一) 367 よこまくり (その二) 367	
	根山 367 日光街道 367 根岸のかじや 367 殿さま街道 (その一) 368	
	殿さま街道 (その二) 368 撫州開き山 368 滝谷戸 368 笹井 369	
5	人物に関する伝説-----	369
	仮名頭彙吉と力石 (その一) 369 仮名頭彙吉と力石 (その二) 370	
	仮名頭彙吉と俵の拍子木 370 甲田の姓 370 半貫という姓の由来 370	
	鷹匠と豪傑 371 新田義貞の太刀 371 新田義貞滞陣の地 371	
6	塚に関する伝説-----	371
	行人塚 (その一) 371 行人塚 (その二) 372 さかい塚 372 山王塚 372	
	お経塚 373 念仏塚 373 証文塚 373 のんの塚 373 富士塚 374	
	荒神さまの塚 374 將軍塚 374	
7	神仏に関する伝説-----	374
	沢のお雷電さま (その一) 374 沢のお雷電さま (その二) 375	
	百日咳に効く沢のお雷電さま 375 三柱神社のツゲのだんご 375	
	市場の荒神さま 375 愛宕神社 376 眼病と虫歯に効く白山さま 376	
	亀の石像と石碑 376 こぶとりのお庚申さま 376	
	入間川の天神さまが晴れのときは 376 なすとりかえ神事の由来 377	
	清水八幡宮のご利益 377 梨原御殿 377 入曾の獅子舞の起こり 378	
	乳の出る石 378 東方の薬師さま (その一) 379	
	東方の薬師さま (その二) 379 丸山の銭洗い弁天さま 379	
	足の権現さま 380 梅宮神社と安産の神 380 安産砂 380	
	やんめえばあさん (その一) 380 やんめえばあさん (その二) 381	
	歯に効く金山さま 381 あさひ稲荷 381 山の神さま 381	
	山神さまとオオカミ 382 くの井戸の観音さま 382	
	かさもり稲荷 (その一) 382 かさもり稲荷 (その二) 382	
	弁天さまの雨もり 383 いぼ神さま 383 馬頭さま 383 三つの寺 383	

渡辺稲荷と増島稲荷	384	お産の神さま	384	火事を防いだタニシ	384
どうはんにちりんさま	385	イモができない場所	385		
小山坊薬師如来の由来	385	薬師さまの清水	385	足に効く権現さま	386
娘とオオカミ	386	庚申さま	386	大六天さま(その一)	386
大六天さま(その二)	387	大六天さま(その三)	387	耳だれさま	387
禅竜寺の観音さま(その一)	387	禅竜寺の観音さま(その二)	388		
新田の薬師さま	388	子育ての鬼子母神(その一)	388		
広瀬の鬼子母神さま(その二)	389	子育ての鬼子母神(その三)	389		
広瀬神社由緒	390	撫州さまと雹難消除のお堂	390		
歯痛に効くがんざ山の白山さま	391	観音堂の火まつり	391		
禅竜寺のだんぎとほっく	392				
8 地蔵に関する伝説	-----				392
耳だれ地蔵	392	耳んだれ地蔵	392	加佐志の耳だれ地蔵	393
岩田の耳だれ地蔵	393	じせい坊の耳だれ地蔵	393	岩田のじせい坊	394
耳だれ地蔵	394	常円寺の耳だれ地蔵	394	化け地蔵	394
水野の化け地蔵(その一)	395	水野の化け地蔵(その二)	395		
水野の化け地蔵(その三)	395	影隠地蔵(その一)	396		
影隠地蔵(その二)	396	田中のカンカン地蔵(その一)	396		
田中のカンカン地蔵(その二)	396	増益地蔵	397	ますさん地蔵	397
歯痛どめの地蔵(その一)	397	歯痛どめの地蔵(その二)	398		
三体の地蔵尊	398	いぼ地蔵	398	黒くなった地蔵	398
子育て地蔵	399	ほっぼられた地蔵	399	せんちゃん地蔵	399
岩船地蔵	399	夢地蔵	400		
9 妖怪・変化に関する伝説	-----				400
井戸山の小豆婆さん	400	小豆婆(その一)	400	小豆婆(その二)	400
ざっくりばばあ	401	天狗にさらわれた話	401	てんごにさらわれた話	401
笹井のタケ坊(その一)	402	笹井のタケ坊(その二)	403		
10 その他の伝説	-----				404
だいだらぼっちの足跡(その一)	404	だいだらぼっちの足跡(その二)	404		
でえだらぼっちの足跡	404	やんぶしのため	404		
だいだらぼっちと大芦の清水の池	405	金子家の大刀と小刀	406		
奥富おごり	406	どんど焼き	406	どんどん焼き	407
のげ焼き(その一)	407	のげ焼き(その二)	407	子供の夜泣き	407
武士の隠れ穴	408	ビワ市	408	馬ぐそ大尽	408
柏原の不思議(その一)	408	柏原の不思議(その二)	408		
奥富の不思議	409				
(二) 昔話	-----				409
1 動物昔話	-----				411
ツバクロとスズメ	411	ニワトリとカラスが仲の悪い話	412		
2 世間話化した話	-----				414
スズメとカラスは仲がよい話	414	モズが木の枝に餌をかけるわけ	414		
サルとイヌが仲の悪い話	414	ネコが十二支に入れてもらえなかったわけ	415		
イタチが十二支に入れてもらえなかったわけ	415	ネコ・ヘコ・トコ	416		
ニワトリは奇態なもんだ	416	おことさんとムジナ	416	善光寺参り	416
3 その他の話	-----				417
(三) 世間話	-----				423
1 動物に関する話	-----				424
キツネの嫁入り(その一)	424	キツネの嫁入り(その二)	424		
キツネの嫁入り(その三)	425	オトウカの嫁入り	425		
オトウカの嫁入りと化かされた話	425	キツネ火(その一)	426		
キツネ火(その二)	426	キツネに化かされた話(その一)	426		
キツネに化かされた話(その二)	427	キツネに化かされた話(その三)	427		
五反田のキツネ	427	第六天のキツネ	428	キツネの意趣返し	428
キツネのべっぴんさん	428	キツネと野バラ	429	キツネ封じのタバコ	429
キツネとタバコ	429	かまってもらえぬ稲荷さま	429	ほら穴のキツネ	430
オトウカ山	430	おさんどんに化けたムジナ	431	タヌキ稲荷	431
オオカメをぶい出した話	432	ネコ・ヘコ・トコ	432		
2 綿貫家に関する話	-----				433
六 織物	-----				439
(一) 序説	-----				439
1 広瀬地方の概要	-----				440
2 養蚕	-----				441
3 染色	-----				443
(二) 広瀬斜子	-----				445
1 川越斜子	-----				445
2 広瀬斜子	-----				447
3 広瀬周辺の斜子	-----				451
4 斜子屋と問屋	-----				455
5 斜子織のおもな用途	-----				456
(三) その他の織物	-----				458
1 木綿織	-----				458
(四) 織娘と機織歌	-----				459
1 織娘	-----				459
2 機織歌	-----				461
(五) 信仰	-----				469

1	おしら講	469
2	蚕神様	473
	荒神様 473 おしんめい様 473 おしら様 474 亀井神社と蚕影山 474	
	蚕と三味線 474 稲荷様 474 繭玉 474 馬鳴様 474	
3	機神様	475
4	愛染様	475
七	石造遺物	477
	総説	477
1	民間信仰と石仏	478
2	石仏の分類	478
3	狭山市の石仏	480
(一)	生産神	486
1	水と生産神	487
	弁財天 489 九頭龍大権現 491 水神 493	
2	霊山と生産神	495
	富士信仰 496 大山信仰 499 出羽三山信仰 500 御嶽信仰 502	
3	日待・月待	503
	日待供養 505 月待供養 506	
4	その他の生産神	509
	山の神 509 山王の猿 510 蚕神 511 稲荷 513	
	[狭山市内石造物一覧表]	
	1 水と生産神 2 霊山と生産神 3 日待・月待 4 その他の生産神	
(二)	塞ぎ	552
1	三界万霊供養塔	553
	狭山市内の三界万霊塔 553	
2	石橋・敷石等の供養塔	555
	石橋供養塔 556 石階・敷石供養塔 557	
	[狭山市内石造物一覧表]	
	1 三界万霊供養塔 2 石橋・敷石等の供養塔	
(三)	現当二世安楽の供養塔	575
1	庚申塔	575
	造立の時代的推移 575 造像上の特色 577 庚申信仰 580	
2	如来	582
	釈迦如来 582 阿弥陀如来 585 大日如来 586 五智如来 587	
3	地藏菩薩	588
	造立の時代的推移 589 造像上の特色 590 地藏信仰 591	
	安産・子育て地藏 592 治病の地藏菩薩 594 六地藏 596	
4	馬頭観世音	597
	造立の時代的推移 597 造像上の特色 599 造立の趣旨と造立者 600	
	他の信仰と結びついた馬頭観世音 601	
5	観世音菩薩	602
	狭山市の観世音菩薩 603 七観音 605	
	[狭山市内石造物一覧表]	
	1 庚申塔 2 如来 3 地藏菩薩 4 馬頭観世音 5 観世音菩薩	
(四)	経典供養塔	684
1	経典読誦供養塔	684
	法華経読誦供養塔 685 普門品供養塔 687 光明真言供養塔 689	
	大般若経供養塔 690	
2	写経供養塔	690
	納経塔 691 一字一石塔 691	
3	念仏供養塔	692
	念仏供養塔 693 百万遍念仏塔 695 六斎念仏供養塔 696	
	寒念仏供養塔 698	
	[狭山市内石造物一覧表]	
	1 経典読誦供養塔 2 写経供養塔 3 念仏供養塔	
(五)	巡拝供養塔	747
1	納経巡拝供養塔	747
	市内の回国供養塔 748	
2	巡拝供養塔	750
	西国・坂東・秩父巡拝供養塔 751 伊勢信仰の塔 752	
	[狭山市内石造物一覧表]	
	1 納経巡拝供養塔 2 巡拝供養塔	
(六)	その他の石仏	774
	道しるべ 774 不動明王 777 愛染明王 777 大六天 778	
	牛頭天王 780 疱瘡神 780	
	[狭山市内石造物一覧表]	
	1 道しるべ 2 その他の石仏	

石造遺物写真図版

- 1 弁財天 (一七〇〇年) <表1> 所在地 上赤坂 吉沢友治宅前十字路脇
- 2 弁財天 (一七二二年) <表2> 所在地 下奥富 栗原保宅脇
- 3 弁財天 (一七八五年) <表3> 所在地 青柳 富士浅間付近
- 4 九頭龍大権現 (一八五〇年) <表7> 所在地 下奥富 九頭龍付近
- 5 水神塔 (一八六〇年) <表9> 所在地 北入曾 常泉寺南
- 6 弁財天 (一八六〇年) <表10> 所在地 上広瀬 西光寺跡墓地

- 7 水神塔 (一八八一年) <表13> 所在地 上奥富 天理教分教会付近
- 8 水神塔 (一八九四年) <表14> 所在地 柏原 昭代橋付近
- 9 水神塔 (一九一六年) <表17> 所在地 北入曾 宮野清宅内
- 10 御嶽講供養塔 (一七九一年) <表33> 所在地 入間川 慈眼寺
- 11 大山講供養塔 (一八三〇年) <表37> 所在地 柏原 本宿バス停脇
- 12 富士講碑 (一八六〇年) <表50> 所在地 上広瀬 富士浅間
- 13 富士講碑 (一八七七年) <表56> 所在地 青柳 氷川神社
- 14 大山講供養塔 (一八八一年) <表65> 所在地 上奥富 梅宮神社
- 15 出羽三山供養塔 (一八九九年) <表71> 所在地 下奥富 栗原伝次宅前
- 16 御嶽講供養塔 (一九〇五年) <表74> 所在地 鶉ノ木 愛宕神社
- 17 木花開耶姫命 (年号なし) <表91> 所在地 入間川 富士浅間
- 18 月待板碑 (一四六三年) <表105> 所在地 北入曾 野々宮神社
- 19 月待板碑 (一四八二年) <表106> 所在地 沢 天岑寺
- 20 月待供養塔 (一六八六年) <表107> 所在地 堀兼 小沢昭七宅前三叉路
- 21 月待供養塔 (一六八九年) <表108> 所在地 堀兼 権現橋脇
- 22 日待供養塔 (一六九三年) <表109> 所在地 南入曾 金剛院
- 23 月待供養塔 (一七〇八年) <表110> 所在地 上赤坂 村田勉宅前
- 24 月待供養塔 (一八三六年) <表112> 所在地 柏原 長源寺
- 25 山の神塔 (一八一九年) <表115> 所在地 南入曾 指田安太郎宅内
- 26 蚕神供養塔 (一八三〇年) <表117> 所在地 下奥富 亀井神社
- 27 稲荷社 (一八四一年) <表118> 所在地 下奥富 亀井神社
- 28 稲荷神像 (一八六五年) <表121> 所在地 堀兼 堀兼神社
- 29 山の神塔 (一八六七年) <表123> 所在地 堀兼 北田秀男宅裏山
- 30 猫神 (一八九四年) <表125> 所在地 中新田 中福口バス停前
- 31 山の神塔 (一九一三年) <表126> 所在地 入間川 富士浅間
- 32 石猿 (年号なし) <表129> 所在地 堀兼 堀兼神社
- 33 三界万霊供養塔 (一七一〇年) <表133> 所在地 入間川 慈眼寺
- 34 三界万霊供養塔 (一七一一年) <表134> 所在地 北入曾 常泉寺
- 35 三界万霊供養塔 (一七七九年) <表142> 所在地 加佐志 共同墓地
- 36 石橋供養塔 (一七四二年) <表159> 所在地 北入曾 観音堂
- 37 石橋供養塔 (一七七四年) <表164> 所在地 青柳 丸山農民センター
- 38 石橋供養塔 (一七七四年) <表165> 所在地 柏原 奥州道交差点脇
- 39 石橋供養塔 (一七八一年) <表166> 所在地 加佐志 共同墓地
- 40 石橋供養塔 (一七八一年) <表167> 所在地 入間川 菅原橋脇
- 41 石橋供養塔 (一七九三年) <表168> 所在地 上奥富 梅林良雄宅前
- 42 石階供養塔 (一八三〇年) <表169> 所在地 柏原 永代寺
- 43 敷石供養塔 (一八四一年) <表171> 所在地 上奥富 梅宮神社前
- 44 申待板碑 (一五三四年) <表177> 所在地 柏原 奥富政一宅内
- 45 庚申塔 (一六六九年) <表178> 所在地 堀兼 堀兼神社
- 46 庚申塔 (一七二八年) <表188> 所在地 柏原 上宿養蚕農協脇三叉路
- 47 庚申塔 (一七四〇年) <表190> 所在地 上赤坂 吉沢友治宅前十字路
- 48 庚申塔 (一七八一年) <表191> 所在地 堀兼 堀兼神社
- 49 庚申塔 (一七八二年) <表192> 所在地 南入曾 金剛院
- 50 庚申塔 (一七八二年) <表193> 所在地 水野 天理教分教会付近
- 51 庚申塔 (一七八九年) <表194> 所在地 入間川 富士浅間付近
- 52 庚申塔 (一七九九年) <表196> 所在地 上広瀬 富士浅間
- 53 庚申塔 (一八五五年) <表201> 所在地 入間川 富士浅間付近
- 54 庚申塔 (一八六四年) <表203> 所在地 水野 水野郵便局付近
- 55 庚申塔 (年号なし) <表211> 所在地 南入曾 山王橋脇
- 56 釈迦如来 (一六七八年) <表216> 所在地 青柳 釈迦堂
- 57 釈迦如来 (一七〇九年) <表220> 所在地 入間川 徳林寺
- 58 大日如来 (一七〇九年) <表221> 所在地 入間川 徳林寺
- 59 阿弥陀如来 (一七〇九年) <表222> 所在地 入間川 徳林寺
- 60 薬師如来 (一七〇九年) <表223> 所在地 入間川 徳林寺
- 61 阿閼如来 (一七〇九年) <表224> 所在地 入間川 徳林寺
- 62 大日如来 (年号なし) <表227> 所在地 祇園 水村勝之助宅付近
- 63 阿弥陀如来 (年号なし) <表228> 所在地 富士見 共同墓地
- 64 地藏菩薩 (一六八五年) <表231> 所在地 水野 下水野子供遊園地付近
- 65 地藏菩薩 (一六八八年) <表232> 所在地 東三ツ木 薬師堂
- 66 地藏菩薩 (一六八九年) <表233> 所在地 狭山 東峰霊園
- 67 地藏菩薩 (一六九四年) <表237> 所在地 加佐志 共同墓地
- 68 地藏菩薩 (一七〇二年) <表240> 所在地 入間川 慈眼寺
- 69 地藏菩薩 (一七〇八年) <表241> 所在地 狭山 田中共同墓地
- 70 地藏菩薩 (一七二三年) <表248> 所在地 入間川 東中学校裏墓地
- 71 地藏菩薩 (一七二九年) <表249> 所在地 北入曾 下新田共同墓地
- 72 地藏菩薩 (一七三一年) <表250> 所在地 狭山 東峰霊園
- 73 地藏菩薩 (一九一七年) <表291> 所在地 上奥富 瑞光寺
- 74 地藏菩薩 (一九七二年) <表300> 所在地 下奥富 広福寺
- 75 地藏菩薩 (一九七八年) <表306> 所在地 上奥富 瑞光寺
- 76 地藏菩薩 (年号なし) <表324> 所在地 中新田 愛宕神社
- 77 地藏菩薩 (年号なし) <表333> 所在地 柏原 奥州道交差点脇
- 78 馬頭観世音 (一七二九年) <表338> 所在地 青柳 奥富安治宅前
- 79 馬頭観世音 (一七四〇年) <表339> 所在地 堀兼 権現橋脇
- 80 馬頭観世音 (一七四一年) <表340> 所在地 入間川 福德院

- | | | | | | | |
|-----|-----------|---------|--------|-----|-----|---------------|
| 81 | 馬頭観世音 | (一七七三年) | <表350> | 所在地 | 下奥富 | 西方集会所裏 |
| 82 | 馬頭観世音 | (一七七九年) | <表355> | 所在地 | 下奥富 | 八雲神社付近 |
| 83 | 馬頭観世音 | (一七八一年) | <表356> | 所在地 | 水野 | 九区公民館付近三叉路 |
| 84 | 馬頭観世音 | (一七九九年) | <表367> | 所在地 | 南入曾 | 中央霊園 |
| 85 | 馬頭観世音 | (一八〇五年) | <表373> | 所在地 | 柏原 | 神田久次宅前 |
| 86 | 馬頭観世音 | (一八一一年) | <表375> | 所在地 | 上奥富 | 瑞光寺 |
| 87 | 馬頭観世音 | (一八三〇年) | <表387> | 所在地 | 下広瀬 | 山本・山影両家墓地 |
| 88 | 馬頭観世音 | (一九七七年) | <表440> | 所在地 | 上広瀬 | 富士浅間脇 |
| 89 | 馬頭観世音 | (年号なし) | <表445> | 所在地 | 鵜ノ木 | 長栄寺 |
| 90 | 馬頭観世音 | (年号なし) | <表446> | 所在地 | 北入曾 | 小川熊雄宅内 |
| 91 | 七観世音 | (一八四四年) | <表473> | 所在地 | 柏原 | 常楽寺 |
| 92 | 聖観世音 | (年号なし) | <表480> | 所在地 | 沢 | 天岑寺 |
| 93 | 経典読誦供養塔 | (一七〇九年) | <表483> | 所在地 | 上広瀬 | 信立寺 |
| 94 | 経典読誦供養塔 | (一七七九年) | <表498> | 所在地 | 柏原 | 常楽寺 |
| 95 | 経典読誦供養塔 | (一八〇三年) | <表504> | 所在地 | 入間川 | 徳林寺 |
| 96 | 経典読誦供養塔 | (一八一一年) | <表509> | 所在地 | 根岸 | 明光寺 |
| 97 | 経典読誦供養塔 | (一八一二年) | <表510> | 所在地 | 沢 | 天岑寺 |
| 98 | 経典読誦供養塔 | (一八六二年) | <表526> | 所在地 | 南入曾 | 金剛院裏 |
| 99 | 経典読誦供養塔 | (一八六五年) | <表527> | 所在地 | 柏原 | 常楽寺 |
| 100 | 経典読誦供養塔 | (一八六五年) | <表528> | 所在地 | 柏原 | 長源寺 |
| 101 | 経典読誦供養塔 | (一八七〇年) | <表532> | 所在地 | 北入曾 | 下新田共同墓地 |
| 102 | 写経供養塔 | (一七七三年) | <表542> | 所在地 | 狭山 | 消防小屋裏墓地 |
| 103 | 写経供養塔 | (一九二七年) | <表546> | 所在地 | 下奥富 | 栗原保宅前 |
| 104 | 念仏供養塔 | (一六七三年) | <表547> | 所在地 | 下奥富 | 広福寺 |
| 105 | 念仏供養塔 | (一六七三年) | <表548> | 所在地 | 下奥富 | 広福寺 |
| 106 | 念仏供養塔 | (一六七四年) | <表549> | 所在地 | 狭山 | 田中共同墓地 |
| 107 | 念仏供養塔 | (一六九一年) | <表550> | 所在地 | 柏原 | 金子家墓地 |
| 108 | 念仏供養塔 | (一七一〇年) | <表556> | 所在地 | 中新田 | 愛宕神社 |
| 109 | 念仏供養塔 | (一七一九年) | <表564> | 所在地 | 鵜ノ木 | 長栄寺 |
| 110 | 念仏供養塔 | (一七二二年) | <表567> | 所在地 | 下奥富 | 広福寺 |
| 111 | 念仏供養塔 | (一七二七年) | <表568> | 所在地 | 堀兼 | 光英寺 |
| 112 | 念仏供養塔 | (一七三七年) | <表572> | 所在地 | 富士見 | 共同墓地 |
| 113 | 念仏供養塔 | (一七四〇年) | <表574> | 所在地 | 上奥富 | 瑞光寺 |
| 114 | 念仏供養塔 | (一七四九年) | <表577> | 所在地 | 柏原 | 円光寺 |
| 115 | 念仏供養塔 | (一七八三年) | <表582> | 所在地 | 柏原 | 永代寺 |
| 116 | 念仏供養塔 | (一八二四年) | <表591> | 所在地 | 狭山 | 西峰霊園 |
| 117 | 念仏供養塔 | (一八四四年) | <表595> | 所在地 | 柏原 | 長源寺 |
| 118 | 念仏供養塔 | (一八五二年) | <表601> | 所在地 | 下奥富 | 西方集会所前 |
| 119 | 六十六部回国供養塔 | (一七一八年) | <表607> | 所在地 | 下奥富 | 西方集会所裏 |
| 120 | 六十六部回国供養塔 | (一七九八年) | <表615> | 所在地 | 南入曾 | 一三区裏山墓地 |
| 121 | 巡拝供養塔 | (一七九二年) | <表624> | 所在地 | 上奥富 | 瑞光寺 |
| 122 | 巡拝供養塔 | (一八三四年) | <表634> | 所在地 | 北入曾 | 野々宮神社 |
| 123 | 巡拝供養塔 | (一八三六年) | <表635> | 所在地 | 上奥富 | 瑞光寺 |
| 124 | 巡拝供養塔 | (一八九二年) | <表649> | 所在地 | 上広瀬 | 富士浅間 |
| 125 | 巡拝供養塔 | (一八九五年) | <表651> | 所在地 | 柏原 | 白鬚神社 |
| 126 | 道しるべ | (一七〇一年) | <表669> | 所在地 | 入間川 | 大野七三宅前 |
| 127 | 道しるべ | (一七四四年) | <表671> | 所在地 | 狭山 | 田中共同墓地 |
| 128 | 道しるべ | (一七五三年) | <表672> | 所在地 | 入間川 | 大野七三宅前 |
| 129 | 道しるべ | (一七九〇年) | <表673> | 所在地 | 下奥富 | 松本市造宅前 |
| 130 | 道しるべ | (一七九一年) | <表674> | 所在地 | 柏原 | 永代寺 |
| 131 | 道しるべ | (一七九三年) | <表676> | 所在地 | 下奥富 | 渡辺勇三宅前三叉路 |
| 132 | 道しるべ | (一七九六年) | <表677> | 所在地 | 柏原 | 東上宿バス停前 |
| 133 | 道しるべ | (一八〇九年) | <表678> | 所在地 | 青柳 | 新屋敷バス停付近三叉路 |
| 134 | 道しるべ | (一八二六年) | <表680> | 所在地 | 柏原 | 早川幸一宅内 |
| 135 | 道しるべ | (一八二七年) | <表681> | 所在地 | 堀兼 | 西武フラワーヒル北十字路 |
| 136 | 道しるべ | (一八三八年) | <表682> | 所在地 | 北入曾 | 下新田共同墓地 |
| 137 | 道しるべ | (一八四六年) | <表683> | 所在地 | 水野 | 上水野自治会館付近十字路 |
| 138 | 道しるべ | (一八五六年) | <表685> | 所在地 | 中新田 | 愛宕神社 |
| 139 | 道しるべ | (年号なし) | <表696> | 所在地 | 笹井 | 笹井小学校北西六〇〇m |
| 140 | 子の権現 | (一八二二年) | <表700> | 所在地 | 堀兼 | 権現橋脇 |
| 141 | 疱瘡神 | (一八四九年) | <表705> | 所在地 | 南入曾 | 県道所沢狭山線沿い所沢市境 |
| 142 | 愛染明王 | (一八五八年) | <表706> | 所在地 | 柏原 | 吉田仁郎宅内 |
| 143 | 大六天 | (一八五九年) | <表707> | 所在地 | 柏原 | 市川勝宅裏 |
| 144 | 不動明王 | (年号なし) | <表714> | 所在地 | 笹井 | 滝不動 |

狭山市史編さん関係者名簿

狭山市史民俗編 付図

狭山市石造遺物分布図

地蔵菩薩分布図

庚申塔・馬頭観世音分布図

その他の石造遺物分布図

口絵・図版(写真) 総目次

口絵1 不老川伝説

口絵2 間引きの絵馬

図 1	屋敷神の八幡祠	20
図 2	広瀬神社の境内社の丸石	31
図 3	笹井の白山神社に供えられた丸石	32
図 4	中庭のある農家	39
図 5	入母屋造りの農家	40
図 6	土間と庭の広い農家	42
図 7	武蔵野の典型的な農家	44
図 8	大釜・いろり・地炉・お勝手	49
図 9	お釜様の団子	49
図10	地炉での炊事	50
図11	お釜様	51
図12	お釜様	51
図13	えびす・大黒のひょうご（掛軸）	57
図14	盆棚の下の無縁仏への供え物	66
図15	屋敷稲荷のお墨付	69
図16	正一位の稲荷	70
図17	正一位のお墨付	70
図18	二十戸稲荷	71
図19	堀兼小学校脇の稲荷社	72
図20	白鬚神社境内の稲荷社	73
図21	寄合いの席順	77
図22	屋根替え	79
図23	くずはき	80
図24	榛名神社の掛軸	84
図25	榛名山代参講記	85
図26	菅原農家組合榛名講々則	86
図27	古峰神社講帳に見る入間川町講	87
図28	食行身禄ニ肖像 [ニ→人べん+狗]	92
図29	まんの書（掛軸）	92
図30	浅間神社の火祭り	93
図31	富士講社碑	94
図32	形ばかりのお火たき神事	96
図33	浅間社の祭礼（火祭り）	96
図34	富士講掛軸	97
図35	浅間社への安産祈願	97
図36	八丁の渡の九頭竜大権現の石碑	98
図37	子育霊神	100
図38	蚕影山の掛軸	102
図39	天神様	105
図40	城山稲荷	106
図41	仏壇に向かいお題目を唱える信者	111
図42	信立寺で唱えるお題目	112
図43	梅宮神社星祭りの祝詞	116
図44	準備された樽神輿	121
図45	座揃式	121
図46	頭渡しの儀式	122
図47	市場の荒神様	123
図48	広瀬の火祭り	124
図49	諏訪神社のなすとりかえ	125
図50	信立寺へ向かう万灯	127
図51	百万遍の珠数くり	128
図52	神輿の村廻り	130
図53	天王様の荒神輿	131
図54	入曾の獅子舞	132
図55	八幡神社鹿子舞	135
図56	柏原の獅子舞	136
図57	笹井豊年足踊り	138
図58	煤とり	154
図59	餅つき	159
図60	お供え作り	160
図61	注連縄作り①	163
図62	注連縄作り②	163
図63	年神棚作り	163
図64	できあがった年神棚と注連縄	163
図65	木で作った年神棚	165
図66	板で作った年神棚	165
図67	辻へ立てた晦日祓いの幣束	168
図68	あおひぼ作り	184
図69	できあがったあおひぼ	184
図70	墓に供えたあおひぼ	184
図71	繭玉作り	190
図72	座敷に飾られた繭玉	190
図73	神棚に飾られた繭玉	190
図74	かゆかき棒作り①	197

図75	かゆかき棒作り②	197
図76	かゆかき棒作り③	197
図77	できあがったかゆかき棒	197
図78	たわら団子を供えた恵比須講	200
図79	大盛りご飯を供えた恵比須講	202
図80	初午	209
図81	鯉のぼり	220
図82	イモ畑に立てた七夕飾り	229
図83	明治十年ごろの盆棚	234
図84	盆迎えの墓参り	235
図85	家族そろっての盆迎え	235
図86	盆棚に張るチガヤの縄作り	238
図87	障子を利用しての盆棚作り	238
図88	盆棚の飾りつけ	238
図89	盆棚	238
図90	十五夜の供え物	242
図91	とおかんやのわら鉄砲	253
図92	とおかんや	253
図93	師走八日のめかい	255
図94	梅宮神社のうぶすな	265
図95	梅宮神社の子受け石	266
図96	腹帯と安産のお守り	267
図97	水天宮の安産の護符	268
図98	農家の間取り	273
図99	間引きの絵馬	277
図100	背守の模様	279
図101	壁にさしたせっちゃん参りのおさんご	280
図102	お宮参りの手かけ	282
図103	破魔弓	285
図104	ひなまつり	285
図105	初山参り	286
図106	七五三の祝い	290
図107	結納の目録	296
図108	結納の受書	297
図109	結納の品物	297
図110	出祝儀での席順	299
図111	本祝儀での席順	302
図112	三三九度の盃の順序	303
図113	だらだら干し	314
図114	棺の中に入れられた人形	317
図115	出棺	318
図116	野辺送り	318
図117	土饅頭	321
図118	犬はじきのある土葬	321
図119	ひきはか	324
図120	しばら	324
図121	ひきはか	325
図122	たっちょうば	325
図123	ひきはかとしばらの位置	326
図124	ひきはかとたっちょうばの位置	327
図125	十王思想と本地仏	331
図126	留塔婆	332
図127	西浄寺の夜盗	346
図128	ズイコウのケヤキ	349
図129	くずはき橋	362
図130	行人塚	372
図131	沢のお雷電さま	375
図132	入曽の獅子舞	378
図133	やんめえばあさん	380
図134	渡辺稻荷と増島稻荷	384
図135	大六天さま	387
図136	観音堂の火まつり	391
図137	加佐志の耳だれ地藏	393
図138	水野の化け地藏	395
図139	カンカン地藏	396
図140	だいだらぼっち	404
図141	ニワトリとカラス	413
図142	キツネの嫁入り	424
図143	キツネの意趣返し	428
図144	オトウカ山	430
図145	おさんどんに化けたムジナ	431
図146	どんどん出てくる傘	434
図147	明治十年ごろの機織り	440
図148	糸より	440

図149	明治十年ごろの養蚕	442
図150	藍がめ	443
図151	広瀬組における斜子織生産高	448
図152	各種博覧会・共進会での表彰状	449
図153	広瀬組の商標	449
図154	コロンビア博覧会での表彰状	451
図155	明治十年ごろの機織り	452
図156	糸ひき作業	452
図157	斜子織の用具	454
図158	宝引の道具	470
図159	おしら様の掛軸	471
図160	飯島家で祀る愛染明王	475
図161	日曜寺の護魔札	475
図162	吉田家で祀る愛染明王	476
図163	年代別による石仏造立の推移	481
図164	像容別による石仏造立の推移	482